

大府市「大中ルネッサンス」基本構想

1 目的

「大中ルネッサンス（以下、「本プロジェクト」という。）」は、大府中学校の生徒の教育・スポーツ環境を整備するとともに、学校施設の開放を通じて市民にも広く利用される場を創出することを目的とする。

『生徒にとっては最高水準の教育・スポーツ環境』を、『市民にとっては身近で多機能な活動の場』を同時に実現することで、「健康都市おおぶ」の理念にふさわしい学校・地域一体型施設の整備を目指す。

2 解決すべき課題

現在、大府中学校及びその周辺施設においては、次の課題が顕在化しており、改善が求められている。

(1) 用地・施設の活用

学校敷地内には、十分に活用されていない土地・施設が存在し、教育的・社会的な価値を生み出せていない一方で、維持管理コストが発生している状況である。

(2) 屋内競技の活動機会の制限

部員数の増加や地域スポーツのニーズに対して、既存施設のキャパシティが十分ではなく、特に屋内競技では、練習時間や活動機会が制限され、環境の改善が求められている。

(3) 屋外施設の老朽化

テニスコートをはじめとする屋外施設の老朽化が進行しており、機能の低下が課題となっている。

3 基本方針

上記課題を解決するため、次の方針に基づき本プロジェクトの基本設計を進める。

(1) 第2体育館の建設

第2体育館を新設し、慢性的な屋内競技の制限を抜本的に解消する。部員数に見合った十分なキャパシティを確保し、天候に左右されることなく、複数の部活動が同時に活動できる環境を整備する。あわせて、夜間や休日には市民開放を行い、地域全体のスポーツ振興を図る。

(2) テニスコートの再整備

部員数に対して手狭となっているテニスコートを再整備する。フットサルやバスケット等の他種目との兼用利用の可能性を検討するとともに、学校施設の効率的な開放により、地域スポーツの活性化を推進する。

(3) 駐車場機能の充実

学校敷地内の用地を活用し、駐車場を整備する。学校行事や学校施設の開放時の利便性を高めるだけでなく、地域イベント開催時の施設としても活用することで、イベント開催時の混雑緩和に貢献する。

(4) 企業スポーツ等と連携したスポーツ振興

本プロジェクトを通じて、企業スポーツの現役選手や OB・OG が部活動や地域スポーツの指導者等として参画する機会を広げることで、指導力の向上及び競技レベルの底上げを図り、地域全体のスポーツ振興につなげる。

4 地域特性と歴史的背景

大府中学校は、開校当時から部活動が盛んで、多くの大会で優れた成績を収めてきた。また、本市では、バドミントンをはじめとするスポーツが活発であり、国民体育大会の会場となった実績もあるなど、「体育のまち・大府」としての歴史を有する。本プロジェクトは、こうした歩みと誇りを、次の世代へと引き継いでいくための取組でもある。

5 期待する効果

本プロジェクトの実施により、生徒の教育・スポーツ環境を改善し、学校教育の充実を図る。同時に、市民が気軽にスポーツや交流を楽しめる活動の場を形成し、部活動・地域スポーツ・企業スポーツ等が連携した持続可能なスポーツ環境を実現する。本プロジェクトは、「健康都市おおぶ」の実現に向けた施策を、より一層力強く推進するものである。

2026年2月16日 大中ルネッサンス プロジェクトチーム 策定

大中ルネッサンス プロジェクトチーム

氏名	所属	備考
鈴置 弘	水道経営課	リーダー
成田 祐朗	秘書室	サブリーダー
浅井 美玲奈	市民課	
久野 友生	税務課	
土屋 茉里	高齢障がい支援課	
片岡 優	女性活躍推進室	
鈴木 一也	都市政策課	
天戸 慎之介	商工業ウェルネスバレー 推進課	
飯田 晃大	水道経営課	
服部 貴洋	会計課	
大下 瑛司	学校教育課	

事務局 企画広報戦略課